

アベリスツイス高校生派遣事業 報告書

宮津天橋高校 加悦谷学舎 井崎李美

○研修の目標

アベツイスがどんな所なのかどんな文化があるのかを自分自身の目で確かめる。今回の交流を通して与謝野町とアベリスツイスとの絆をさらに深める！

○参加した理由

前に一度アベリスツイスからの高校生のホストファミリーをした事があり、アベリスツイスがどんな街なのかを聞いてとても興味を持ち自分の目で見てみたいと思ったから。

○アベリスツイスとはどんな場所なのか



アベツイスとはイギリスの西海岸沿いにある、自然豊かな町で周りが丘で囲まれている。人口は与謝野町より少ない。気温が低く結構寒かったです。普段から雨がよく降る。

○アベリスツイスの街並み



町の中心部では家やお店が横一列にピッタリくっついていました。
外装はカラフルで家の作りが統一されていてとてもお洒落でまるで洋画のワンシーンみたいでどこを撮っても写真映えします！右の写真は特にハリーポッターの世界にありそうなお家です。

● 私のホストファミリー



- メーガン（左端） 大人っぽくてクールな性格で私が英語を理解できなくて困っていたら毎回翻訳アプリで分かり易く教えてくれた。カーリーとは双子。
- カーリー（左中央） メーガンの双子の妹。優しく面白い。目があったらいつも微笑んでくれる。
- メーガン（右端） 明るくて穏やかな性格で、ノリがいい。スタイル抜群。色んなことを教えてくれた。

3人は仲の良い友達で、ウェールズ語を扱うペンウェディング高校に通っている英語とウェールズ語が話せるバイリンガル。3人とも私と同級生だけど、とても同級生には見えなくらい大人っぽいし、バチバチにピアスが開いていて初対面の時とても緊張したし怖かったけど、話してみると優しく、可愛かったです。

イギリスの高校のことや、流行りの音楽など様々なことを教えてくれたり、色々なところに連れて行ってくれました！

○アベリスツイスでの経験 発見



●アベリスツイスの動物といえば、羊が有名ですが羊以外にもリス、馬、牛、犬、猫が沢山いました。この写真はメーガン一家が飼っている COWCOW という名前の馬です。名前の理由は柄が牛に似ているからだと思います。他にもメーガンママの妹さんの所有する牧場で今までにみたことのない大きさの乳牛を見ました。他にも、カーリーとメーガンのお家では大きな犬と小さな犬を飼っていて、この二週間で沢山の動物たちと出会いました。

●左の写真はウール工場で羊毛フェルトを使ってオリジナルの柄を組み合わせで作るアベリスツイスならではのフェルトアートです。流石羊毛。触り心地がふわふわでとても気持ちよかったです！完成品は石鹸と羊の香りがしました。



●この写真はホストファミリーのお家にあった暖炉で、アベリスツイスでは全ての家のリビングに暖炉が設置されていて、自分達で薪を焚べて暖をとっているそうです。日本では暖炉がある家はあまりないので、凄く珍しくて興味深かったです。暖炉は視覚効果もあってか、凄く暖かかったし、安心感があってみんなでリビングに集まってテレビを見ている時、心地良すぎて眠ってしまいそうでした。





●鉾山の奥に行って、作業場や中の様子など普段みることの出来ない場所に入らせてもらったり、釘打ちも体験させてもらえた。
怖かったけどスリルがあって楽しかったです。



●ホストファミリーにウェールズ博物館に連れて行ってもらい、ウェールズの歴史を見たり、広場には昔の家を再現した建物があり、中に入ることができたので、昔ながらのウェールズのお家を見ることができました。
凄くリアルでタイムスリップしたみたいで凄く面白かったです。
ここにも羊がいました。



●アベリスツイスの戦争者追悼式とパレードに参加させていただきました。沢山の人や、兵隊の服を着た人が歩いている姿が凄くカッコ良かったです。アベリスツイスの大切なイベントに参加させていただけて凄く感動的でした。

研修に行ってみての感想

私は以前にアベリスツイスの高校生エイミーのホストファミリーをした事があり、アベリスツイスが素晴らしい街だと聞いて、高校生になったら派遣事業に参加し自分の目でアベリスツイスを見てみたいと思ったのがこの交流に興味をもったきっかけです。

日常の中で海外の人と話すのはALTの先生と話す事くらいしか無いので、今の自分の英語力で相手と会話をし、仲を深める事が出来るのかとても不安で初めてホストファミリーと顔を合わせた時、凄く緊張したけど、最終的にホストファミリーと離れたくないし、アベリスツイスにずっと居たいと思いました。

今回の交流を通して私が学んだ事は友達になるのに国や性別、年齢は何も関係無いという事と、フランクエバンスさんの心の寛大さです。

まず友達になるのに国は関係無いということ。私達はアベリスツイスで色々な人と出会いました。例えば、ホストファミリーや学校の先生、アベリスツイス大学に通う大学生です。初めて出会う人達ばかりだし、国も言語も年齢も性別も違うけど、一生忘れない友達になりました。どの人も良い人ばかりでアベリスツイスには素敵な人が沢山いる事がわかりました。

次にフランクエバンスさんの寛大さというのは、この交流が始まったきっかけであるフランクエバンスさんのお話を聞いて、私はもし私がフランクエバンスの立場だとしたら自分が辛い思いをした場所はもう思い出したく無いです。しかし、フランクエバンスさんは仲間を思い、このような事が二度と起こらないよう、与謝野町とアベリスツイスの交換交流を始めてくれました。そのことを聞いて、私はフランクエバンスさんは何て心が広い人なんだと感動しました。このようなフランクエバンスさんの思いに応える事が出来るよう、これからも一生アベリスツイスと与謝野町の交流が続くようにしていきたいと思いました。そして、この事業に協力して下さった全ての皆さんに本当に感謝しています。

ありがとうございました！

アベリスツイス高校生派遣事業報告書

宮津天橋高校加悦谷学舎 2年 太田絢子

● 事業に参加するにあたっての目標・目的

- ①与謝野町とアベリスツイスの交流がより深いものになるように、多くの事を学んでいく。
- ②この交流の事を多くの人たちに知ってもらうために人との交流を大切にする。
- ③フランク・エバンス氏の思いを自分なりによく考えて、何をすべきかを見つける。

● ホストファミリーの紹介

<エレンの家族>

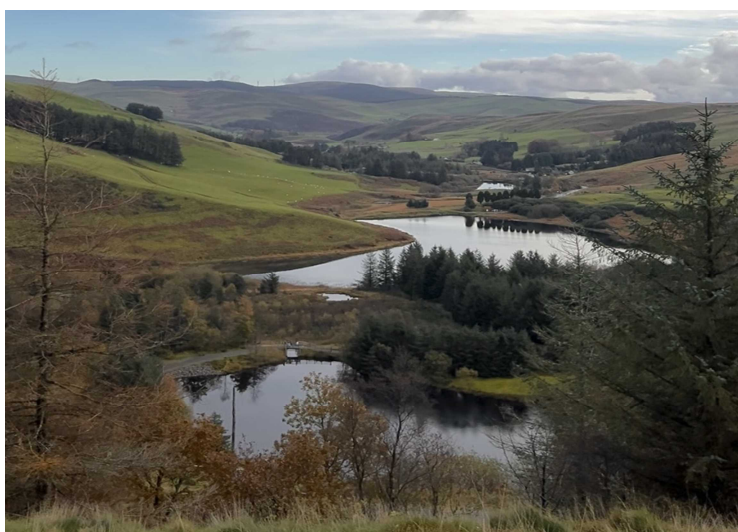
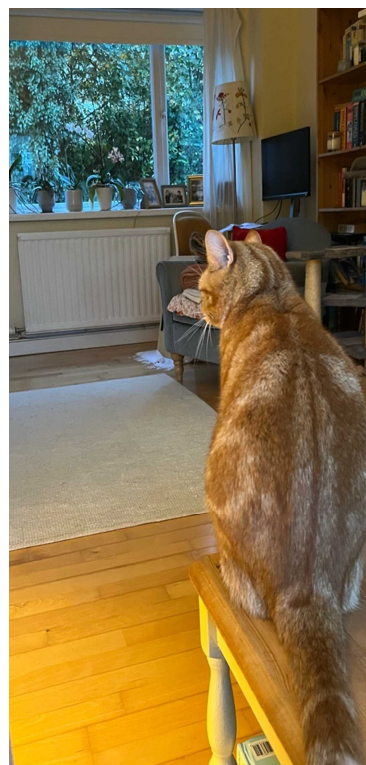
エレンの家族は4人家族でした。



家には暖炉がありました。ウェールズではラグビーが人気らしく、エレンの弟（ヨワンド君）はラグビーを頑張っていました。

また、ボーイスカウトやガールスカウトの活動もしていました。
エレンとの1番の思い出は蝶々園に行った事です！すごく綺麗な蝶がたくさんいて驚きました。

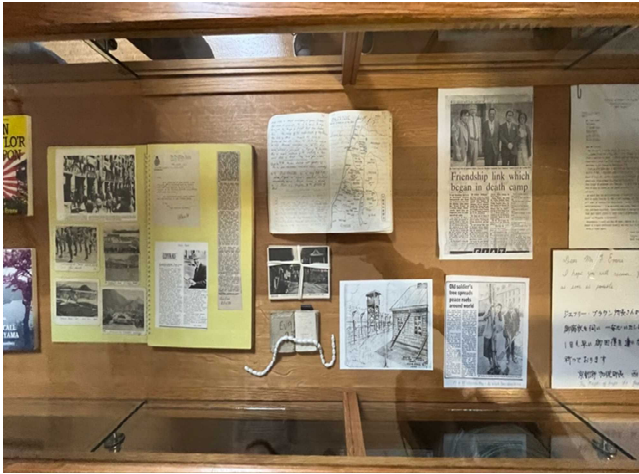
<ローサの家族>



ローサの家族は4人家族でした。お兄ちゃんはロンドンの大学に行ってるらしい！

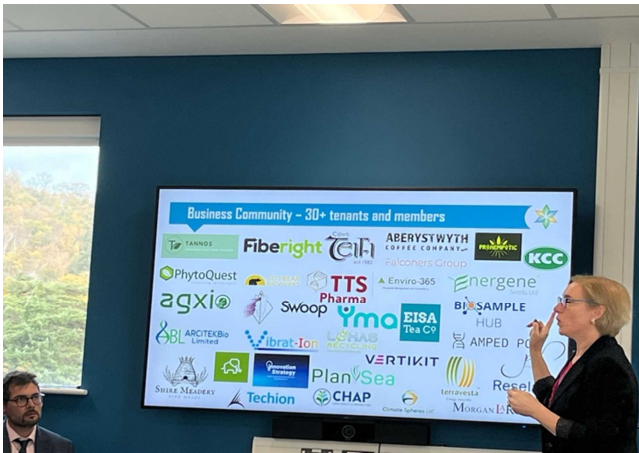
ローサの家にはモンティ君と言う猫がいました。ローサとは趣味が合って2人で買い物に行った時もすごく楽しかったです！ローサの家族とは一日中一緒に過ごす日があったので、レッドカイト（赤とび）を一緒に観にいきました！

- 訪れた場所



- 国立図書館

ウェールズの国立図書館で、フランク・エバンス氏の本なども展示されていました。この図書館は、本が多くなる度に増築工事を行なっています。



- 企業見学

ここでは、食品や、種子などの研究がされていた。また、アベリスツイスとその周辺の町の政治活動や、課題点などのお話もありました。



- アベリスツイス大学

大学では、犯罪心理学やプログラミング、現地大学生との交流を行いました。その際仲良くなった大学生とは、今も交流が続いています。



● RED

ハンドメイドの靴屋さんで、とても素敵なお店でした。着物を使って作られたブーツもありました。

ハンドメイドだからこそその味がある靴でした。



● 鉱山跡

ウェールズの家屋根を造るための石や粘土を採掘していた跡地。

ライトがないと真っ暗なトンネルだったけれど、使われていた名残の瓶などがあり、驚きました。



● ウールミュージアム

羊毛加工の工場に行きました。

私たちもコースター作りをしました。羊毛を使った絨毯などを作成する織り機は、ちりめんを織る時に使う機械と似ていました。



● そのほかにも

ジーンズ工場、教会、アートセンター、学校など多くの場所を訪れました。どの場所もとても新鮮で勉強になったりする場所が多かったです。

● 終戦記念



私達はアベリスツイスで、平和記念パレードに参加しました。パレードの際には感謝の意を持つとされるポピーの花をつけました。多くの戦死者の名前が呼ばれているのを聞き、もう一生こんなことが起きてはならないと強く思った瞬間でした。

● 気づいた事

①勉強の仕方が全然違う！！

学校見学に行った時に、学校の自由さにびっくりしました。校舎がカラフルだし、ガム噛んでたり、お話ししてたり、自由席だったり、日本の高校とかじゃ考えられない事が多かったです。

②交流について

この交流の事をアベリスツイスの人はすごく大事にされていて、多くの人が与謝野の事、日本の事を知ってくれていると知りました！
街で声をかけてくれる人がいたり、日本語を話してくれたりすごく身近にこの交流の事を感じてくれているのが嬉しかったです。

③言語の違いがあっても大丈夫

ノリや元気があればなんとかなる！これは大きな気づきです。話そうと思う事、会話してみようと頑張る事が大切だと感じました。ノリノリで話す事で友達もたくさんできたのでよかったです。

● 研修を終えて

<自分なりの平和への考え>

私は研修後、自分が思う平和について考えました。

この研修では多くの人と交流をする事ができ、多くの思い出を作る事ができました。

この出会いや、思い出をこれからの未来に残していきたい。その思いが戦争をしないでおこうという思いに変わると考えました。私は平和のためにも人と人とが繋がる事が大切だと思います。

フランク・エバンス氏が繋いでくれたアベリスツイスと与謝野町の関係のために、

世界中の平和の為にもしっかりと人との出会いを大事にしていきたいです。

● まとめ

私は、今回の研修に参加するにあたって、多くの不安がありました。しかし、そんな不安もあっという間に無くなるほど良い経験をする事ができました。

フランク・エバンス氏をきっかけに始まったこの交流は、私に多くのものを残してくれたと感じます。

例えば、平和の大切さです。最近戦争のニュースを見る事がありますが、どこか他人事のような気がしていました。しかし、平和記念パレードに参加して実際に戦死した方々の名前を聞くと、すごく悲しい気持ちになりました。それと同時に、戦争というものの自体に近いものを感じ、戦争の恐ろしさを知りました。

私は、もう二度とこんな事が起きないようにするべきだと思いました。

この研修を通して、多くの人に会えたこと、多くの経験ができたことは、私にとって大きな財産となりました。この財産を未来へ残していくことは、平和にも繋がると思います。その為にも、私はこれから与謝野町とアベリスツイスのことを、多くの人に知ってもらえるような活動をしていきます。

多くの人にこの交流を知ってもらい、1人でも多くの方が平和について考えるきっかけになればいいなと思います。

最後に、この交流がこれからも続いていく事を強く願うと同時に、温かく私達を迎え入れてくださった皆様や、こんなに貴重な体験をさせてくださった皆様に感謝しています。ありがとうございました。

